

教育目標 やさしく かしこく たくましく



畑小
だより

佐渡市立畑野小学校
学校だより
令和2年7月1日発行
校長 古塩 正明
TEL.0259-66-2019

変化に強い心

校長 古塩 正明

今回のコロナ禍では、私たちはいろいろなことを経験しました。子どもたちにとっても突然の事態にとまどったり、あわてたり、心配したりしたことだろうと思います。

これは、私たち大人も同じで、初めての事態に出くわしたときの不安と怖れは誰でももつ感情だと思います。

しかし、このような時こそ大切になってくるのは「しなやかな心」「がまんする心」「助け合う心」ではないでしょうか。

緊急事態宣言がだされた後、長い間、外出できなかつた期間がありました。そんな時でも、みんな本当によくがまんしました。外に出たり、遊んだりしたい気持ちをおさえてがんばりました。マスクが品切れになったとき、手作りマスクを作りその場をしのぎました。遠く離れた家族や親戚、友人に会えないときは、手紙やオンラインでコミュニケーションをとりました。日々、献身的に病院や行政機関等で働いている方たちには、惜しみない感謝の気持ちや敬意を表しました。

これこそ、急な変化に柔軟に対応しているすばらしい姿だと思います。自分の感情をコントロールし、人の気持ちを考え、自分の行動を制御できる「強くしなやかな心」がないとできないことです。また、辛いことから逃げないで「がまんする」気持ちがないとできないことです。

当たり前のことができなくなったり、予定が急に変更になったりすると、人間だれしも「何でこうなるの」「何でこうしないの」「〇〇のせいでこうなった」「こうなったらもうだめだ」といった否定的で、後ろ向きな言葉や感情が出てしまいがちです。私自身も、ふとそんな弱い気持ちになってしまうことがあります。やはりそれではいけません。これから先も、またどんなことが起きるか分からないのです。そのために私たちは日ごろからその変化に対応できる強く柔軟な心を育てておかなければなりません。

新しい学習指導要領が改訂された理由の中にこのようなことが書かれています。

「このような時代にあって、**学校教育には、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことが求められる。**」

まさに今回の事態は、このことの必要性を痛感させられるものとなりました。「変化に対応するしなやかな心」「逆境に耐える忍耐力」「気持ちを切りかえる力」はこれから予測困難な未来を生き抜き子どもたちに、ぜひ身に付けさせなければいけない力だと考えます。そして私たち大人自身も様々な変化を受け止め、前向きに対応できる柔軟性、忍耐力、判断力、行動力を子どもたちに見せていかなければいけないと感じます。そして、そのような「心の免疫力」を日々の教育活動で育てていきたいと考えます。

学習スナップ



6年生が「道徳」の研究授業を行いました。「まじめ」という言葉のイメージを子どもたちに考えさせ、正直に、誠実に生活することについて、いろいろな考えを交流しました。グループごとにホワイトボードを使って意見を交換しました。さすが、学校のリーダーです。誠実に、そして主体的に授業に取り組んでいました。

4年生が「道徳」の研究授業を行いました。「みんなが気持ちよく」というテーマで、ルールの大切さやその目的について考えました。「クラゲチャート」という思考ツールを使ったり、ワークシートに自分の意見を書いたりして、みんな意欲的に考え、意見交換していました。



1年生が、畑野小学校の先生方と仲良しになれるように、自分の自己紹介カードを持ってあいさつにまわりました。「好きな遊びは何ですか?」「好きな食べ物は何ですか?」といろいろな質問をしながら交流をしていました。立派な態度でたのもしい1年生でした。



1年生が体育で、6年生と一緒に体力テストの反復横跳びに挑戦しました。6年生がやり方を教えてくれたり、回数を数えたりしてくれました。やさしい6年生です。ぜひ、体力をつけて、たくましい畑っ子になってほしいものです。



新潟日報チャレンジ作文

以下のとおり、子どもたちの作文が新潟日報に掲載されましたので紹介いたします。（6月2日～6月27日）

運動会 9月26日(土)に実施予定

新型コロナ対応のため2学期以降に延期された**運動会は、今現在、9月26日(土)に内容、時間を短縮して実施する予定で計画を進めております。**ただし、今後の状況によっては変更も有り得ることをご承知おきください。